



人生に必要な武器

こんにちは！私は今津教室で非常勤講師として集団授業と個別授業を担当している山中翔太と申します。いきなりですが、皆さんは、努力して勉強した先に具体的に何があるかご存知ですか？今20歳、大学2年生である僕が思う勉強の先にあるものの1つ目は沢山のチャンスです。チャンスというのは、掴むことが出来れば多くのお金を得ることが出来たり、自分の技術をレベルアップさせることができる出来事だと考えます。悲しいことに、今皆さんが勉強している事を日常生活、社会で使っている人は少なく、ほとんどの人は使わないでしょう。勉強は皆さんの人生にとって木の幹となる1つの要素です。テストの点数に関係なく、努力して考

え、勉強すればするほど、その幹は太く高く成長し、沢山の枝を形作っていきます。その枝こそがチャンスなのです。多ければ多いほど、枝は増え、花が咲く可能性も高くなります。中学時代の勉強は、幹を成長させる肥料のようなものなのです。これから新年度を迎え、学年が1つ上がりますね。つまり、高校受験までの残り年数も新1年生はあと3年、新2年生はあと2年、新3年生はあと1年になります。勉強の努力の先にあるものの2つ目は、自信です。私は成功体験はそのまま自分の自信に繋がると思っています。最終的に高校受験をクリアするために、皆さんはこれから成功体験をいくつ積み重ねることができるでしょう。答えは何個でも積み重ねることが可能です。自分で設定した目標に対して、何をすべきか考え、努力して達成するという体験を些細な日常から生み出すことが出来るからです。例えば、今週中に春休みの数学の宿題(全部で30P)を終

山中 翔(今津教室)

わらせるぞと決めたら、より細かく明日は5P頑張ろう。明日は遊んで、明後日は、その分の10Pを頑張ろうなどと、予定を決め、それを実行し、今週中に終わらせることが出来たらそれは、成功体験です。自分一人で決めるのが難しい場合は、先生方にいつまでに終わらせるかを宣言するなどして、自分を律しましょう！1つの区切りである高校受験までに成功体験を積み、自分を信じる事が出来るようになれば、当日も心配なく臨めるのではないのでしょうか。

このように、勉強すること自体に意味があるというより、勉強を通じて自分で思考して努力し、達成したことに真の意味があるのだと私は考えています。根拠の無い自信ではなく、根拠のある自信を手に入れ、自分で手に入れたチャンスを取りましょう！

人生は、本当に自分の行動で大きく変わります。

カリーナのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE Talking Kids Katrina Fujikawa

How Well Do You Know About Philippines? フィリピンのことをどれくらい知っていますか？

The Philippines takes its name from Philip 11, who was the king of Spain during the Spanish colonization of the island. With a population of over 110 million people it is the seventh most populous country in Asia and the 12th most populous in the world. The Philippines is composed of more than 7,000 islands. It has three major island groups, Luzon, the largest island where Quezon City the capital is located, Visayas, known for its fine beaches and idyllic coves, and Mindanao, where exotic forest make it an irresistible haven for nature lovers. What language do people in the Philippines speak? The national language is Filipino although there are 111 dialects. English is widely spoken and used in government, educa-

tion, print, broadcast media, and business. Education: The Philippines follows a K to 12 Program. It covers Kindergarten and 12 years of basic education. Kindergarten education is for age five. Primary education starts at age six and last six years. Junior High School starts at age 12 and last for four years. Senior High School starts at age 16 and last 2 years. At the end of every school year, the student's cumulative grades are evaluated. If the students pass or earn at least 75%, they can move forward to the next year level. After completing the primary and secondary education the students graduate and earn a diploma from the institution. Undergraduate college instruction is typically four years.

フィリピンの名前は、スペインによる植民地化時代のスペイン国王フィリップ11世に由来します。人口1億1,000万人以上で、アジアで7番目、世界で12番目に人口の多い国です。フィリピンは7,000以上の島で構成されています。首都ケソン市がある最大の島ルソン島、美しいビーチとのどかな入り江で知られるビサヤ諸島、そしてエキゾチックな森林が自然愛好家にとってたまらない楽園となっているミンダナオ島です。フィリピンの人々は何語を話しますか？ 国語はフィリピン語ですが、111の方言があります。

英語は広く話されており、政府、教育、印刷物、放送メディア、ビジネスで使用されています。教育 フィリピンはK to 12プログラムを採用していて、幼稚園から12年間の基礎教育を行います。幼稚園は5歳まで、初等教育は6歳から6年間、中学校は12歳から4年間、高等学校は16歳から2年間。学年年度の終わりに、生徒の累積成績が評価されます。合格または75%以上の成績を収めれば、次の学年に進むことができます。初等・中等教育終了後、学生は卒業し、教育機関から卒業証書を授与されます。大学の学部教育は通常4年間です。宗教 フィリピン人の80%はローマ・カトリックに属しています。クリスマスは最も大きく長いパーティーで、9



Religion ; Eighty percent of the Filipinos belong to the Roman Catholic faith. Christmas is the biggest and longest party of all. It starts as soon as the "BER- Month," SeptemBER, OctoBER, NovemBER, DecemBER. People : We Filipinos have a habit of kissing the hands of elders, an act that means asking for their blessings, we call it "Mano". Filipinos are known for their strong work ethics, and adaptability. Whether it is in their homeland or abroad, Filipinos exhibit unwavering dedication to their jobs and is renowned for their ability to adapt to different environments and challenges. Come and enjoy the beautiful beaches in the Philippines and feel the heartwarming generosity of the Filipinos.



月、10月、11月、12月と "BER月"になるとすぐに始まります。

人々 私たちフィリピン人には年長者の手にキスをする習慣があります。またフィリピン人は強い労働倫理と順応性で知られています。母国であろうと海外であろうと、フィリピン人は自分の仕事に揺るぎない献身を示し、さまざまな環境や困難に適応する能力で有名です。

フィリピンの美しいビーチを楽しみ、フィリピン人の心温まる寛大さを感じてください。



生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

Growing

February 2024
Vol. 138
毎月10日発行

【本部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662

【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984

【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008

【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

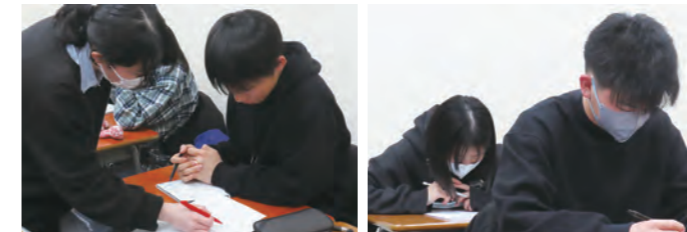
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220

【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

カイチ生・予備校生私立合格おめでとう。 公立入試まで最後の追い込み、頑張ろう！



大学受験は前期試験が終わり、高校受験も私立・国立の結果が出ました。(詳しくは挟み込み資料を参照ください) 大学受験は国立の結果待ちですが、私立は同志社大学1名、関西学院大学3名、立命館大学2名、関西大学4名、近畿大学5名など(その他多数)、開校して6年目、確実に地元密着の予備校として進学実績を積み上げています。

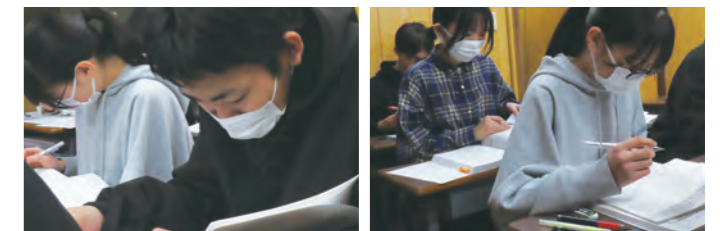
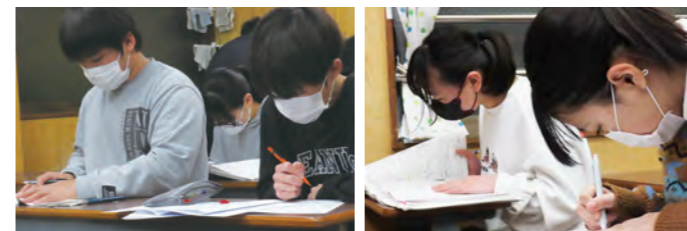
城東商店街のど真ん中という変わった立地ですが、教室は高校生で凄いい活気です。(ご興味がおありの方は「カイチ予備校」で教室の様子が見られます)現在は国立大学の結果待ちですが、生徒達の成果をドキドキしながら待ちたいと思います。

高校受験の国立では、教育大附属平野に3名、府立高専にも2名が合格。私立も中3生209名全員合格。(本当に良かった!)奈良の西大和に1名、大阪では桃山のS英数、近大付属のSuper文理、大阪桐蔭1類、大阪国際α、同志社香里など難関私立の合格が続きました。

インフルエンザで別日受験というトラブルに見舞われた生徒もいましたが、無事終わって本当に良かったです。生徒のみんな、保護者の皆さん本当にお疲れ様でした。

今この記事を書いているのが3月4日。公立高校受験まであと1週間です。先週最後の大学予想模試が実施されました。大学予想模試は、毎週土曜日、公立入試の予想問題を本番形式でテストし、翌月曜日は各自の内申点を加味した合格予想が発表されるテストです。毎週、生徒達は結果の張り出しをドキドキしながら見つめ、次の土曜日の大学予想模試に向けて弱点箇所の補強や、英作や記述の添削特訓などに励んできました。

また、今年はカイチ予備校の数学担当の福井先生がC問題数学の質問が殺到している状況を心配して、毎週日曜日にC問題対策用の数学のクラスを開講してくれました。



こちらですぐに定員が満席になり、みんなで取り組みました。学力は最後の最後まで伸び続けます。

特に、実力が拮抗する人たちの中で合否が決まる公立入試は、最後まで緩まずやり抜けるかが鍵です。本当にあと少し。体に気を付け、一生に一度しかない今を悔いが残らないように頑張ってくれればと願っています。

このように文章を書いているだけで、熱い気持ちがかみ上げてきてしまいますので、それを見守るご家族のお気持ちは察するに余りあると思います。でも、きつと親として今は見守ることしかできない心境だと思います。でも、見守ってくれているご家族がいるからこそ、彼らは安心して頑張ってくれたのだと思います。

彼らは、今から努力の結果を受け止め、人生を自分の足で歩まなければなりません。どうか、自立に向かう彼らに「あなたなら大丈夫」というエールを送ってあげてください。ご家族のその言葉が何よりのねぎらいと励みになると思います。

また、新年度が始まります。新年度の生徒募集は私達が1年間、子供達のまた、保護者の皆様のお役に立てたかという物差しだと私は考えています。今年度は、例年よりもはるかに多い400人以上の生徒達にお問い合わせいただき、無事に新年度を迎えることができた喜びと共に、身が引き締まる思いをしております。

今年度は、新たに社員の先生方を3名迎えることができ、また、蒲生4丁目個別指導専門教室の「カイコベ」をスタートすることができました。この教室は集団指導で培っていたノウハウを使い、個別カウンセリングで学習法を身に付け卒業後も自力で伸びていける子供達を作りたいという思いで開校しました。また、現在準備中ですが、この教室の2階では中・高生を対象としたサポート校を開校し、頑張りたいけど何らかの理由で学校に行けない。そんな子供達のための場所にしたいと考えています。

地域の皆様にとって、「近くにカイチがあって、なんだかよかったな」そんな教室になれるように。今年もスタッフ一同、精進努力を重ねて参ります。

最後に、受験生のみんなが答案に、今までの努力をしっかりと刻んで来てくれますように。

君たちならきっと大丈夫。

カイチからの お知らせ

- 3月11日(月)は公立入試です。受験生の皆さんガンバレ!
- 3月12日(火)は公立受験採点会&茶話会を行います。中3生是非参加してください。■3月19日(火)は公立入試合格発表日です。
- 3月21日(木)~4月6日(土)でカイチ予備校の春期講習を実施します。高1は無料とさせていただきますので是非ご参加ください。
- 3月18日(月)~4月2日(火)は小・中・高の春期集中授業と春期講習を実施します。詳しい時間割は授業内で配布します。
- 開智総合学院とカイコベ(カイチ予備校・エニグマ・かいち学童は除く)は4月3日(水)~4月6日(土)、万緑会は4月1日(月)~4月6日(土)は春休みです。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

開校7年目を迎えました!

熊谷 真宏 (カイチ予備校 蒲生校)

こんにちは!カイチ予備校蒲生校の教室長の熊谷です。蒲生校は2018年3月に開校し、地域の皆様に支えられて今年で7年目を迎えることができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、今回は教室紹介ということで記事を依頼されたのですが、せっかくの機会なので昨今の大学入試事情についてお伝えしたいと思えます。

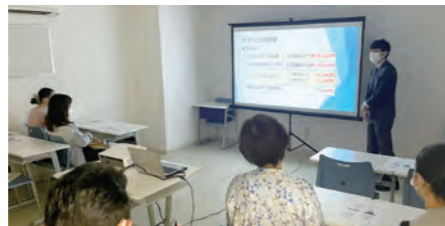
大学の「入試」というと、当日の試験の点数で合否判定が行われる、いわゆる「一般入試(今の正式名称は一般選抜)」をイメージされる方がほとんどだと思いますが、近年では多数の生徒が一般入試以外の試験で合格していると聞くと驚かれるでしょうか?

2023年度の入試において、総合型選抜(旧AO入試)と学校推薦型選抜という、いわゆる「年内入試」による入学生の割合は50.7%で、初めて全体の5割を超えたことが文部科学省のまとめで明らかになりました。総合型選抜というのは大学が求める学生を書類選考や面接、プレゼンテーションなど多彩な方法で選ぶ入試で、時期はだいたい9~10月です。また、学校推薦型選抜は在籍する高校の学校長の推薦を受けた生徒の学習成績や学校内外での活動を評価して合否判定を行う入試で、時期はだいたい10~11月です。どちらも年内に合否結果が出るのがほとんどであることから「年内入試」と呼ばれます。

受験生からすればこれらの入試を併せて受験することで選択肢が増えることになり、早い時期に受験を終了できるので近年人気が高まっています。また、国公立大や関関同立といった難関大学を目指す生徒にとっては、年内に併願校やすべり止め校の合格を確保しておけるチャンスが広がるので非常に大きなメリットと言えます。カイチ予備校においても数年前と比べてこうした年内入試を受験する生徒が着実に増えているのが実情です。

注意点としては、入試が行われる時期が早い分、それだけ準備も早い時期から始めておかなければならないという点です。特に総合型選抜は高校での様々な活動を通して「どのような経験をし、どういったことを学んだか」という点が重視されるため、高1の早い段階から意識しておかなければいけません。例えば部活動で部長として部員をまとめ上げた経験などは絶好のアピール材料となりますが、早期から入試を意識しているからこそ初めて「部長に立候補する」というアクションを起こせるのです。他にも地域のボランティア活動に参加したり、夏休みに短期留学に行ったり等、アピールできるチャンスはたくさんあるので、これから高校生になるみなさんにはぜひ覚えておいて欲しいと思います。

他にトピックとして挙げておきたいのは、今年の高3から大学入学共通テストの内容が変わる点です。以前にもGrowingで紹介しましたが、新たに「情報」という科目が加わり、国語は大問が1問増え、歴史は「歴史総合」という日本史と世界史が両方入っている内容になる等、受験生にとってこれまでよりもさらに勉強の負担が大きくなります。共通テストはただでさえ毎年多くの受験生が苦戦しているのですが、それが来年さらにパワーアップすると考えるとこれまで以上に厳しい戦いになるのは間違いなく、高1からしっかりと学習を積み上げていくことが重要であることは言うまでもありません。厳しい言い方になってしまいますが、これから高校生になって国公立大学を目指す方は相当の覚悟を持って臨んでください。



▲大学入試説明会では最新の情報を正確にお伝えします!

このように目まぐるしく変わり続ける大学入試において、いかに多くの正しい知識を持っているかが大学受験を戦うために非常に重要になってきます。もちろん様々な媒体を通して自分自身で調べることも可能ですが、例えば入試方式などは初めて見る人にとっては非常に複雑で分かりにくいものなので、「調べてみたけど結局よく分からないまま」というケースも起こり得ます。そんなときには学校の先生に聞くという方法もありますし、大学受験のプロである予備校を活用するという手もあります。授業を受けたり自習室を使うというのが予備校に通う目的のメインになるかと思いますが、「大学入試に関する最新の情報を手に入れる」というのも同じくらい重要なので、ぜひ今後の参考にさせていただければと思います。



▲自習室にはいろんな大学の情報を掲示しています♪

カイチ予備校に通われている生徒の保護者のほとんどは「お子様が初めて大学受験をする」というケースなので、大学入試に関する情報をあまりお持ちでなく、不安を感じられている方が非常に多いです。そういった方のために私たちは大学入試に関する情報を随時提供しており、三者面談や大学入試説明会等で最新の情報をお伝えしています。また、ちょっとした疑問でもLINEを通じてお答えすることもできるので、何かお困りのことがあればぜひご相談していただければと思います。これからも地域の皆様にとって頼りになる存在となれるよう精一杯頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

私立高校受験総括
受験生はどう動いたか?

川西 久志 (今福教室)

大阪の私立高校受験の全体的な動向

去る2月10日に大阪の私立高校で2024年度入試が一斉に始まりました。カイチ生219名の皆さんも試験に臨み、1,5次試験も含め全員合格を果たしました。まずは皆さんおめでとうございませ。そしてお疲れさまでした。専願の皆様は試験は終了となりますが、おそらく高校から大量の課題が出されていると思いますので、計画的に消化していきましょう。

今回の記事では私立入試を総括させていただこうと思います。まずは全体的な動きから見ていきましょう。大阪府立高校全体では入学希望者が減少している傾向が明確に現れています。

下の表は大阪府教育委員会が発表した公立高校の受験者データをまとめ直したものです。

年度	募集人数	志願者数	志願倍率
平成30年度	21831	26122	1.20
令和元年度	20612	23939	1.16
令和2年度	20211	22736	1.12
令和3年度	17934	20222	1.13
令和4年度	18457	20727	1.12
令和5年度	18251	20588	1.13

カイチ生の動向

上記のような状況がある中でカイチ生はどう動いたのでしょうか?カイチ生の専願率は219名中80名で36.5%にのぼっています。数字上は全体の動きと連動していると言えそうです。さらに今期の専願受験校上位5校を割り出してみると下のようになります。

高校名	専願者数
大阪国際	16
近畿大学付属	11
常翔学園	7
関西大学北陽	5
常翔啓光学園	5

1位である大阪国際高校は大阪国際大学を持っていますが、大阪国際高校はカイチの全教室から比較的通いやすいこと、進学実績が強いこともあげられます。

全体的な傾向として平成30年度から令和3年度にかけて志願者数が急落しています。理由は少子化に加え、私立高校の専願受験に流れたと捉えるのが自然です。ではなぜ私立高校の人気が高まってきているのでしょうか?

大阪では2024年度入試(令和6年度生)で専願の割合が過去20年で初めて3割を超え、専願志向が強まっています。専願割合が増えている理由については無償化で家計負担が抑えられ、公立との学費の差が縮まっていて、さらに24年度から所得制限が撤廃される大阪府の高校授業料無償化制度も後押ししているといえるでしょう。

また私立は公立に比べて学習支援が手厚く、設備が充実している点も見逃せません。私が進路指導した中でも設備が充実していることを理由に受験に踏み切った生徒もいます。

それに加えて大学の系列校となると内部進学も使えることもある。大学入試の状況としてはセンター試験から共通テストとなり、出題内容の難易度が上がっていることや国の制度である私立大等補助金総額の要件が厳しくなっている状況(具体的には募集人数よりも超過または定員割れをおこすと国からの補助金が減額される)などもあり、共通テストや二次試験から進学するルートがかなり厳しくなっています。



▲受験生に少しだけ時間をお借りました



▲自習室で集中して勉強中!

ネームバリューのある近大と関大系列は通学距離はあっても上位にいます。また常翔系列は幅広い偏差値層の生徒を募集していますので、受験しやすいこと、それに加えて常翔学園・常翔啓光学園は摂南大学と大阪工業大学を系列に持っているのが大きい(広島国際大学も持っている)です。以上のように数字から見てみると、上位の高校は全て大学を持っている高校でありますから、内部進学制度を持っている高校の人気はこれからも衰えないと考えられます。もちろん進学実績の強い高校も人気はありますが、全体的な動きとしては大学への多彩なルートを持っているかどうかは一つの決め手になりそうです。私立高校は個々に強みを持っているので、実際に説明を聞いてみると高校によって全然違うことがわかりいただけるとおもいます。

今回また新たな制度ができつつあるタイミン

グということもあり、ここ1,2年でまた受験者の動向が変わる可能性が十分に考えられるので、高校の情報は早いタイミングで集めることは志望校を決めるうえでとても良いことだと思います。

公立志望の受験生の皆さんは入試に向かって最後の追い込みの真最中です。今福教室では岸田先生をはじめとし、塾長も含め担当の先生達みんなで受験生の対応をしている毎日です。受験生に少しでも後悔が残らないように、受験生自身が最後の最後までやり切ったと思えるように一日を大切に授業や質疑対応、面談を行っています。毎年受験生にかかわっている私としては、今年は病気もしてしまいましたので、せめて最後はできうる限り教え続けたいと思い、教室に行っています。たった1問の質問対応が決め手になり合格するかもしれません。だから最後の瞬間までやり続けます。